

# 担当教員と主な研究分野

\*教員の担当科目については『授業科目の概要』(P14・15・18・19・21)をご覧ください。

## 庄司 正実

SHOJI, Masami

現代心理学専攻

修博

教授・研究科長 医学博士

**歴** 筑波大学医学専門学群卒業、筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。現・目白大学心理学部心理カウンセリング学科教授

**研** 1)少年の薬物乱用：入所非行児を対象として乱用の実態を疫学調査している。 2)産業精神保健：うつ病、職場ストレス、ソーシャルサポートなど。

**著** Relationship between solvent inhalation and antisocial behavior, Psychiatry and Clinical Neurosciences, 1996。『児童自立支援施設における薬物乱用の動向』『日本社会精神医学会雑誌』20巻4号(2011年)

## 川端 美穂

KAWABATA, Miki

現代心理学専攻

修

教授 社会学修士

**歴** 慶應義塾大学文学部卒業、同大学大学院社会学研究科社会学専攻後期博士課程単位取得満期退学。福島女子短期大学助教等を経て現職

**研** 社会心理学、メディア・コミュニケーション論の視点から、現代社会でメディアが人々の社会的現実認識や心理・行動に与える影響について、実証的研究を行っている。

**著** 『フィクションが現実となるとき日常生活にひそむメディアの影響と心理』訳(2019年 誠信書房) | 『科学的問題の報道に対する受け手の批判的態度』『メディア・コミュニケーション』71号(2021年) | 『クリティカル・オーディエンス—メディア批判の社会心理学』(2023年 新曜社) | 『ポジティブメディア心理学入門』訳(2023年 新曜社)

## 大嶋 玲未

OHSHIMA, Remi

現代心理学専攻

修

准教授 博士(心理学)

**歴** 立教大学大学院現代心理学研究科心理学専攻博士課程後期課程修了。立教大学大学教育開発・支援センター学術調査員、助教を経て現職

**研** 専門は、産業・組織心理学(組織行動・キャリア)。研究テーマは職種におけるダイバーシティ(特に障害者雇用)推進に向けた環境づくりなど。

**著** 「ジョブ・クラフティングを促進する組織の社会的要因とその構造：ベンチャー企業の一事例による質的検討」『目白大学心理学研究』19号(2023年) | 「精神障害者保健福祉手帳所持者を雇用する特例子会社における管理職と部下の社会的相互作用過程」『心理学研究』第96巻 第2号(2025年)

### 現代心理学専攻 非常勤講師

温泉 美雪	東京家政大学人文学部 心理カウンセリング学科准教授	公認心 臨床心
亀井 美弥子	湘北短期大学保育学科准教授	
高橋 浩	ユースキャリア研究所代表	公認心
中村 洸太	池袋心理教育研究所所長	公認心 臨床心
真柄 希里穂	保谷メンタルクリニック 下北沢メンタルクリニック (医)春晴会 ハルこころクリニック	公認心

## 河野 理恵

KAWANO, Ric

現代心理学専攻

修

教授・専攻主任 博士(心理学)

**歴** 筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。筑波大学心理学系技官・助手を経て現職

**研** 専門は老年心理学と認知心理学。主な研究テーマは、1)高齢者のライフスタイルに応じた支援の構築、2)老年期における記憶能力の維持と認知症予防、3)高齢者のジェネラティブティなど。

**著** 『エピソードでつかむ老年心理学』共著(2011年 ミネルヴァ書房) | 『スタンダード認知心理学』共著(2015年 サイエンス社) | 『準限界集落に居住する高齢者の生活満足度に影響を与える要因の検討』『高齢者のケアと行動科学』27巻(2022年)

## 倉盛 美穂子

KURAMORI, Mihoko

現代心理学専攻

公認心 発達心 修

教授 博士(心理学)

**歴** 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期課程修了。福山市立大学教育学部教授、日本女子体育大学体育学部教授を経て現職

**研** 1)子どもの社会性に関する研究：「リスクを伴う遊びが子どもの発達に及ぼす影響」など。2)大人の子どもへの支援に関する研究：「学習や遊びにおける自己決定の効果」など。

**著** 『あなたと創る教育心理学 新しい教育課題にどう応えるか』編著(2017年 ナカニシヤ出版) | 『保育者と小学校教師の指導行動の特徴—幼児教育と小学校教育との接続の問題—』『感性工学』22巻2号(2024年)

## 財津 亘

ZAITSU, Wataru

現代心理学専攻

修

准教授 博士(文学)

**歴** 立命館大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程前期課程修了。富山県警察本部刑事部科学捜査研究所主任研究官を経て現職

**研** 犯罪者プロファイリング、ポリグラフ検査、目撃証言など、犯罪心理学、捜査心理学を専門とする。

**著** 『犯罪者プロファイリングにおけるベイズ確率論の展開』(2011年 多賀出版) | 『犯罪捜査のためのテキストマイニング』共著(2019年 共立出版) | 『Rと事例で学ぶベイジアンネットワーク(原著第2版)』訳(2022年 共立出版)

## 今野 裕之

KONNO, Hiroyuki

現代心理学専攻

修

教授・副学長 心理学修士

**歴** 筑波大学大学院博士課程心理学研究科単位取得退学。筑波大学心理学系技官・助手を経て現職

**研** ①対人関係の社会心理学 ②臨床社会心理学、特に自尊感情・自己制御と精神的健康の関連 ③組織のリスク・マネジメントについての心理学的研究

**著** 『リスク・マネジメントの心理学』共編(2003年 新曜社) | 『組織健全化のための社会心理学』共著(2006年 新曜社) | 『状態自尊感情尺度の開発』共著『パーソナリティ研究』16巻1号(2007年)

## 奈良 雅之

NARA, Masayuki

現代心理学専攻

修

教授 文学修士

**歴** 日本大学文学部卒業、日本大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程満期退学、早稲田医療専門学校卒業(鍼灸師)。北里大学講師等を経て現職

**研** 健康心理学、東洋医学等、1)ボディワーク・呼吸法・運動行動実施時の感情変化に関する研究、2)事象関連電位などによる選択反応行動の神経心理学的研究等。

**著** 「スポーツ選手の痛みに関する心理支援と鍼灸マッサージ」『医道の日本』68巻4号(2009年) | 『あはき心理学入門』共著(2010年 ヒューマンワールド社) | 『肩こり感尺度作成の試み』『Health and Behavior Sciences』9巻2号(2011年)

## 沼田 真美

NUMATA, Mami

現代心理学専攻

専任講師 博士(心理学)

**歴** 目白大学大学院修士課程心理学研究科修了。筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科修了。関西国際大学心理学部専任講師等を経て現職

**研** 専門は、社会心理学、ポジティブ心理学等。主な研究テーマは、傷つきからの回復を促したゆるしの概念や対人関係の維持および適応に関わる心理的要因等に関して、実証的研究を行っている。

**著** 『ポジティブ心理学研究の転換点 ポジティブ心理学のこれまでとこれから』共訳(2019年 福村出版) | 「ゆるしにおける傷つきの変容過程に関する検討—出来事の種類、転換点、重要度の観点から」共著『目白大学心理学研究』第18号(2022年)

マークの説明

**歴** 主な経歴 **研** 現在の主たる研究領域・テーマ **著** 主な著書・論文 **修博** 各学位論文の指導ができる教員

各専攻の担当教員は、**現代心理学専攻** **臨床心理学専攻** で確認してください。

**公認心** 臨床発達心理士の有資格者 **発達心** 公認心理師の有資格者 **臨床心** 臨床心理士の有資格者

修士論文の指導については、学生の研究内容により指導担当以外の教員も論文指導を行います。詳細はオープンキャンパスなどでお問い合わせください。

## 杉本 希映

SUGIMOTO, Kie

臨床心理学専攻

公認心 臨床心 修博

教授・専攻主任  
心理カウンセリングセンター長 博士(教育学)

**歴** 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科修了。湘北短期大学生活プロデュース学科専任講師を経て現職

**研** 児童期から青年期の教育臨床を専門とし、研究と実践を行ってきた。子どもの「居場所」・いじめ・虐待など近年の子どもが抱える問題について研究している。

**著** 『中学生の「居場所環境」における心理的機能に関する研究』(2009年 風間書房) | 『事例から学ぶ児童・生徒への指導と援助』編著(2010年 ナカニシヤ出版) | 『学校で気になる子どものサイン』編著(2012年 少年写真新聞社) | 『生徒指導とカウンセリング』共著(2013年 協同出版) | 『いじめ予防スキルアップガイド：エビデンスに基づく安心・安全な学校づくりの実践』(2021年 金子書房)

## 笹川 智子

SASAGAWA, Satoko

臨床心理学専攻

公認心 臨床心 修

准教授 博士(人間科学)

**歴** 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。早稲田大学人間科学学術院助教を経て現職

**研** 社交不安症の治療と予防に関する研究を、主として認知行動論的な立場から実施している。また、精神発達病理学的な観点から、児童青年期の不適応症状の発現に関連する要因について幅広く検討している。

**著** 「日本の児童生徒における社会不安の特徴：Social Phobia and Anxiety Inventory for Children (SPAI-C)を用いた検討」『心身医学』49巻8号(2009年) | 『臨床児童心理学：実証に基づく子ども支援のあり方』共著(2015年 ミネルヴァ書房)

## 浅見 祐香

ASAMI, Yuka

臨床心理学専攻

公認心 臨床心

専任講師 博士(人間科学)

**歴** 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。新潟大学人文社会科学系講師を経て現職

**研** 主に、認知行動療法の立場から、依存行動や犯罪行為の維持メカニズムおよび効果的な心理学的支援について研究している。現在は、クレプトマニア(窃盗症)やギャンブル、ゲームなどの行動嗜癖を対象とした治療や予防に関する研究を実施している。

**著** 「窃盗症の発症過程における認知と行動の変化」共著『心理学研究』92巻2号(2021年) | 『司法・犯罪心理学 公認心理師スタンダードテキストシリーズ19』共著(2024年 ミネルヴァ書房)

### 臨床心理学専攻 非常勤講師

井上 敦子	東京女子医科大学病院 神経精神科	公認心 臨床心	水野 泰尚	千葉市保健所 HIV カウンセラー 株式会社EP総合心理士	公認心 臨床心
大川 翔	東京大学総合文化研究科助教	公認心 臨床心	磯ヶ谷 尊	唐池学園(心理療法担当)	公認心 臨床心
小栗 貴弘	跡見学園女子大学心理学部 臨床心理学科准教授	公認心 臨床心	大川 ふみ	目白大学心理カウンセリングセンター 相談員	公認心 臨床心
金沢 吉展	明治学院大学心理学部教授	臨床心	蔵下 智子	国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター	公認心 臨床心
土屋 正雄	(株)アドバンテッジリスクマネジメント		齊藤 朗子	二葉幼児院	公認心 臨床心
平松 洋一	こまち臨床心理オフィス 千葉大学子どものこころの発達 教育研究センター特任研究員	公認心 臨床心	坂田 晴奈	中野区教育センター 教育相談室教育相談員	公認心 臨床心

## 高橋 稔

TAKAHASHI, Minoru

臨床心理学専攻

公認心 臨床心 修

教授 修士(教育学)

**歴** 筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科退学。広島国際大学臨床心理学科助手を経て現職

**研** 応用行動分析学の考え方や技法を臨床心理の世界にどのように応用できるかについて研究している。現在は、Acceptance and Commitment Therapyの技法の効果検証を行ったり、不安体験中の主体的行為についてアイトラッキング装置を用いて研究している。

**著** 「うつ症状の再発予防を目的としたアクセプタンス & コミットメント・セラピー」『行動療法研究』42巻2号(2016年) | 『心理学ベーシック なるほど!心理学面接法』(2019年 北大路書房) | Gaze and avoidant patterns of visual attention to aversive stimuli during fear habituation trial. Journal of Behavioral and Cognitive Therapy, Vol.33(4), 2023.

## 諏訪 絵里子

SUWA, Eriko

臨床心理学専攻

公認心 臨床心 修

准教授 博士(小児発達学)

**歴** 大阪大学連合小児発達学研究所博士後期課程修了。大阪大学キャンパスライフ健康支援センター特任講師を経て現職

**研** 子どもの心理を専門とし、主に発達と母子関係の側面から研究するとともに、遊戯療法などを実施している。また、発達障害の特性理解とそれに基づいた支援方法について実践的研究を行っている。

**著** 「精神分析と乳幼児精神保健のフロンティア」共訳(2018年 金剛出版) | 「自閉スペクトラム障害のある大学進学予定者への移行支援プログラムの実践」『高等教育と障害』2巻(2020年) | 「成人期初期の日本人に対する実行機能行動評価尺度の信頼性・妥当性の検討」『心理学研究』第95巻 第4号(2024年)

## 阪無 勇士

SAKANASHI, Yuji

臨床心理学専攻

公認心 臨床心

専任講師 博士(心理学)

**歴** 東京成徳大学大学院心理学研究科博士後期課程を修了。児童相談所児童心理司、昭和学院短期大学助教等を経て現職。特別区の児童相談所心理療法担当職員を兼任

**研** 児童虐待や不適切な養育がもたらす心理的な影響に対し、生活臨床の立場から治療的に介入していく研究と実践を行っている。また、各児童相談所等において、研究者の立場から子ども中心の支援と人材育成を行っている。

**著** 「一時保護所職員による受容的な関わりが入所児童の安全感・安心感に及ぼす影響—被虐待児が求める受容的な関わり方」共著『ヒューマン・ケア研究』19巻(2019年) | 『子どもを支援する教育の心理学』共著(2021年 ミネルヴァ書房)

## 黒沢 幸子

KUROSAWA, Sachiko

臨床心理学専攻

公認心 臨床心

教授 文学修士

**歴** 上智大学大学院文学研究科博士前期課程修了。私立公立学校スクールカウンセラー、上智大学・立教大学大学院講師等を経て現職

**研** ①学校臨床心理学、スクールカウンセリング、②プリーセラピー(解決志向、ナラティブなど)、コミュニティ臨床(ピアサポート、コンサルテーション、心理教育)

**著** 『指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック』(2002年 金子書房) | 『明解! スクールカウンセリング—読んですっきり理解編』共著(2013年 金子書房) | 『やさしい思春期臨床—子どもと親を活かすレッスン』(2015年 金剛出版) | 『解決志向のクラスづくり 完全マニュアル』共著(2017年 ほんの森出版)

## 橋本 壘

HASHIMOTO, Rui

臨床心理学専攻

公認心 臨床心

准教授 修士(人間科学)

**歴** 早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得後退学。国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所流動研究員、目白大学人間学部/心理学部助教、早稲田大学人間科学学術院准教授を経て現職

**研** 精神疾患や慢性身体疾患に対する認知行動療法を専門としている。現在は、人工知能による心理面接内の発言内容の質評価の検討や、職場のメンタルヘルス向上のための予防的支援の研究実践等を行っている。

**著** 「糖尿病患者とその家族における心理的負担感の特徴」『ストレス科学研究』32巻(2017年) | 『集団認知行動療法の理論と実践』共訳(2018年 金子書房)

## 日高 響子

HIDAKA, Kyoko

臨床心理学専攻

公認心 臨床心

専任講師 博士(公衆衛生学)

**歴** 筑波大学大学院人間総合科学学術院バブリックヘルス学位プログラム修了。筑波大学附属病院臨床心理士、つくば市発達相談員を経て現職

**研** 医療心理学を専門とし、身体疾患をもつ患者と家族の心理支援や小児がんサバイバーの精神健康支援などについて研究している。

**著** 「病をもつ子どもが『子どもらしく生きる』心理的支援」『心理臨床学研究』第38巻3号(2020) | Cognitive functions of pediatric brain tumor survivors treated with Proton beam therapy: A case series. Journal of Pediatric Hematology Oncology, 2020. | Development of Adolescent Childhood Cancer Survivors' Psychosocial Issues Scale. Pediatrics International, 2023.

土田 恭史 目白大学心理カウンセリングセンター相談員 **公認心 臨床心**

平久江 薫 長野大学社会福祉学部准教授 **公認心 臨床心**

平部 正樹 聖心女子大学准教授 **公認心 臨床心**

深山 いずみ 目白大学心理カウンセリングセンター相談員 **公認心 臨床心**